

備前市事務事業評価表

事務事業名	簡易給水施設管理運営事業		コード	担当係	水道工務課・水道営業課
			01-01-09-05	担当者	藤澤昌紀
事業実施期間			電話	0869-66-9792	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	上水道及び簡易水道			
	施策	施設の計画的な整備と簡易水道などの統合・震災・災害などに対する施設整備・環境対策と水の安定供給			

事業について	
目的	山村振興地域の簡易給水施設の維持管理により、地区の飲料水の衛生的かつ安定的供給を図り、日常生活水準の向上に資するための確保、安全性を維持する。
対象（誰のために）	八塔寺・榎・和意谷・大藤上・大藤下・牛中地区簡易給水施設の利用者（133人）
内容	衛生的な飲料水を供給するために定期的に水質検査等を行い、また、湧水等に対応して安定供給を行うために、施設の維持管理を実施する。

事業の結果										
実施項目		17年度								
		回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)	
給水人口		133	人							
年間給水量		12,636	m ³							
水質検査		12	回							
修繕・施設工事		8	件							
補給回数		2	回							
事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費	
	直接事業費	6,894	国庫補助金等	直接事業費		直接事業費		直接事業費		直接事業費
	人件費	2,510	受益者負担	2,064	人件費		受益者負担		人件費	
	合計	9,404	市債	7,340	合計	0	一般財源等	0	合計	0
必要人員		0.35	人							人
結果指標①	結果指標名	給水量								
	結果指標量	12,636								
	単位	m ³								
	対前年比	—								
結果指標②	事業費	9,403,819								
	単位当たりコスト①	744								
	結果指標名	修繕・施設工事								
	結果指標量	8								
対前年比	—									
事業費	1,385,475									
単位当たりコスト②	173,184									

事業の成果			
成果指標名	豊富な水の供給度	式又は説明	簡易給水施設1人1日平均給水量=年間給水量 ^総 /365日/給水人口 × 100 上水道1人1日平均給水量(318 ^総 :H17水道統計調査より)
成果指標量	17年度		
対前年比	82		
到達目標値	—	0.00%	
	85	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 備前市簡易給水施設設置及び給水に関する条例	課題認識 合併前は地元各地区で管理していたものを、合併後平成17年度から市で管理することとしたため、運営面で改善できる点が多いためではないかと思われる。具体的な改善点については模索中である。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	施設の老朽化等に伴い、コスト面では増加傾向にあるが、飲料水を衛生的かつ安定して供給するという施設の目的を考えれば、最低限の施設改良は行わなければならない。市の管理から離れていたため、これまで十分に施設の実態を把握できていなかったため、最も効率的な運営方法を探究していく必要がある。
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	山間地域ということ考えれば、単純に上水道と比較することはできないが、安心して豊富な水を使用していたくためには、清浄・豊富な飲料水を供給することが必要となる。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度		<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分
コメント	これまで行政サービスとしては行き届かなかった部分が多い事業であり、衛生的な水の安定供給を行って日常生活水準の向上を目指すためには、可能な限りの経費は投入しなければならない。	<A~E> C

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	8
結果指標量②	13,000
目標値	85

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	統合可能な施設どうしを統合する	平成24年度	維持管理費用の軽減と、湧水時等における施設間の融通性の向上

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。